

第3回
男山地域まちづくり連携協定
年次報告会

平成28年11月2日

男山地域まちづくり連携協定の締結

地域とともに元気な暮らしができる、住みたい、住み続けたい男山

を目指し、京都府、八幡市、関西大学、UR都市機構が連携して取組んでいこう！



平成23年 9月 関西大学団地再編プロジェクト(文部科学省戦略的研究基盤形成支援事業)開始

平成24年 4月 八幡市・京都府・関西大で戦略会議を開催 ⇒ 調査・検討・提案

平成25年 4月 UR都市機構が加わり連携協議会を開催 ⇒ 調査・検討・提案

平成25年10月 男山地域まちづくり連携協定の締結(無期限) ⇒ 調査・検討・提案・実践・検証 ⇒

平成28年 3月 文科省補助事業終了

平成26年11月ー 平成27年11月 ー平成28年11月 第3回年次報告会

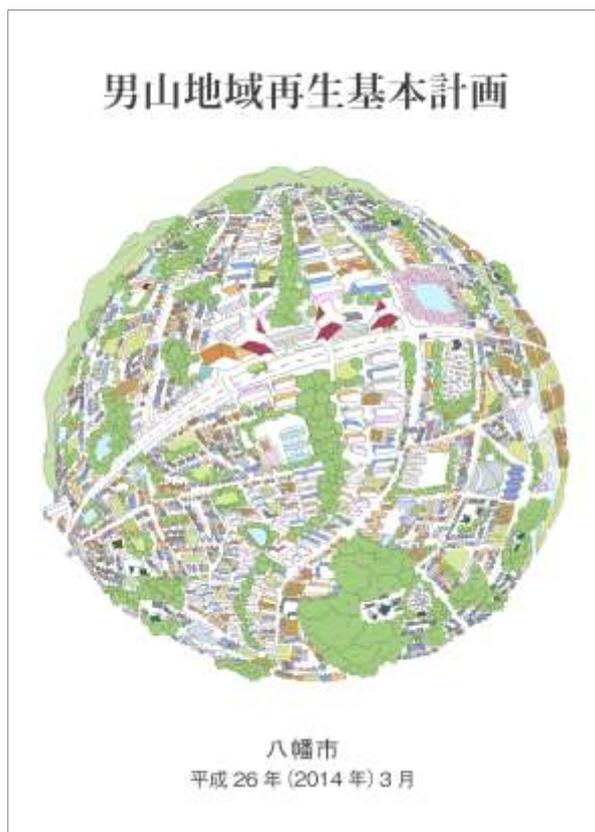
男山地域まちづくり連携協定の目的

- (1) 次世代を育むまちづくりとして、子どもが豊かに育つために、地域で子育てを支えあい、ともに育ちあう、分かちあう環境づくりの導入・確立
- (2) 多世代が根を張るまちづくりとして、高齢者が住み慣れた地域で住み続けられることを目指した「地域包括ケア」の確立
- (3) 地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立
- (4) 住民が主役となるまちづくりとして、地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

平成26年3月 男山地域再生基本計画の策定

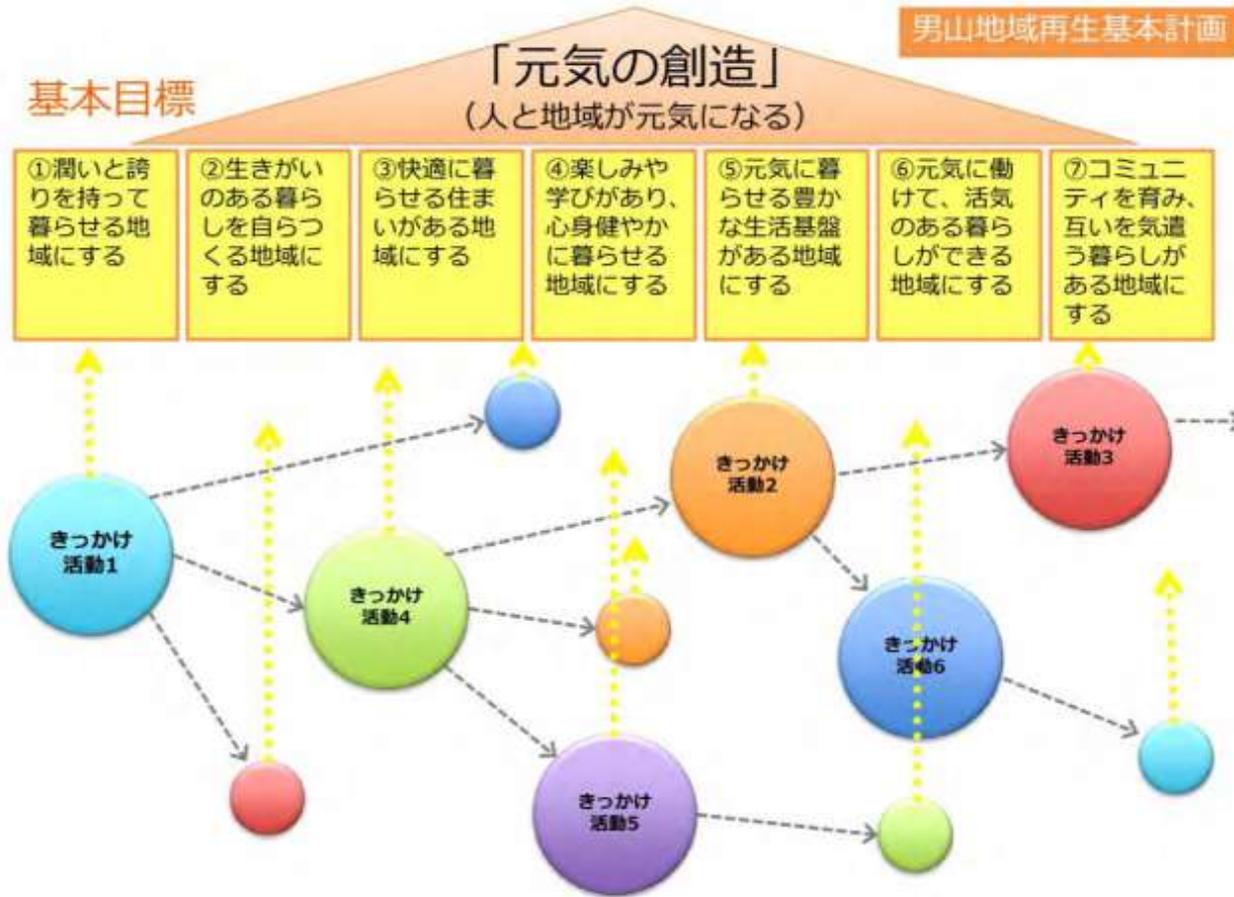
男山の将来目標

地域とともに元気な暮らしができる、
住みたい、住み続けたい男山



平成26年3月 男山地域再生基本計画の策定

「元気の創造」を生み出す7つの基本目標と「きっかけ活動」



現在、連携・協力事項により、具体的な取り組みである
様々な「きっかけ活動」が始まり展開している。

関西大学団地再編プロジェクトの 研究成果が本になりました!

ストック活用型団地再編への展望

ストックを活かしつつ豊かに暮らし続ける団地再編の可能性を探る



【前編】
関西大学団地再編プロジェクトの研究活動 (平成 23~27 年度)

- <目次>
- 序 研究活動・プロセスの概要
- 第一部 団地再編 (再生・更新) に関する研究成果
- 1章 団地再編の空間・デザイン
 - 2章 団地再編のマネジメント
 - 3章 団地再編のコミュニティ
- 第二部 国内外の団地再編 (再生・更新) の動向および団地再編 (再生・更新) を巡る討論
- 4章 世界の事例にみる団地再編空間の傾向
 - 5章 関西のニュータウンの課題と再編の取り組み <千里N.T.、泉北N.T.、甲斐団地>
 - 6章 近郊の集合住宅団地も何を目指したか ~団地のはじまりを振り返り明日を考える~
 - 7章 まちを元気にするコミュニティの仕組み~ファミリーから個人へ
- 第三部 団地再編 (再生・更新) 手法の検討とその実践
- 8章 男山団地における再編提案とその実践的展開
 - 9章 男山団地再生基本計画の策定と新たな手法の提案
 - 10章 男山団地における取り組みの評価
 - 11章 南花台・浜甲子園・千里橋山台における団地再編の提案とその展開
- 資料編
(付録) 団地再編リーフレット (VOL.001~185) PDF 収録 DVD-ROM

ストック活用型団地再編への展望
団地再編の空間・デザイン
団地再編のマネジメント
団地再編のコミュニティ



団地とは何だったのか、団地再編 (再生・更新) の視点を探る



【後編】
団地再編専門家養成セミナーテキスト

- <目次>
- 第一部 団地原論シリーズ
- 1章 集合住宅団地の誕生と世界への展開
 - 2章 社会主義国の集合住宅団地と経済開放後の変容
 - 3章 3公住宅の成立と集合住宅団地の開発
 - 4章 集合住宅団地の日本での展開 - 市街地内および周辺部での開発から郊外開発へ -
 - 5章 集合住宅の技術 - 規格化・工業化・システム化と丁寧な空間づくり -
 - 6章 多様な団地管理の仕組み
 - 7章 住宅市場における3公住宅の位置づけ
 - 8章 社会潮流の変化と3公住宅団地の再編への取り組みの実態
- 第二部 団地再編シリーズ
- 9章 公共住宅政策について - 国際比較を交えて -
 - 10章 ヨーロッパにおける団地再編の空間的的手法
 - 11章 ライフスタイルと暮らしのニーズの把握
 - 12章 元気な暮らしの生み出し方
 - 13章 団地再生の考え方/団地の資源を見出し活かす ① 団地再生と住民意志
 - 14章 団地再生の考え方/団地の資源を見出し活かす ② 団地環境の評価と活かす方
 - 15章 団地再編のケーススタディ
 - 16章 団地再編のケーススタディ (プロセス) とガイドライン



関西大学 戦略的研究基盤 団地再編プロジェクト 編著
発行 関西大学出版部
価格 前編後編合わせて 7,020 円 (税込)

【問い合わせ】
関西大学出版部
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35
TEL 06-6368-1121 FAX 06-6389-5162

子育て支援の取組み

(1)次世代を育むまちづくりとして、子どもが豊かに育つために、地域で子育てを支えあい、ともに育ちあう、分かちあう環境づくり

ダンチ de コソダテ in 男山 の概要



子育て世代に向けた住宅の供給

リノベーション住宅の供給

- ・エントランス改修による団地環境整備
- ・若年層世帯を対象とする家賃負担の軽減



地域子育て支援施設

「おひさまテラス」の開設・運営

これら2つの事業を柱として、UR男山団地をきっかけとした、まち全体の子育て環境の再編を目指す。

ダンチ de コソダテ の取組み

リノベーション住宅の供給

子育て層となる若い世代へ訴求し得るリノベーション住宅を、
関西大学設計プランを主軸として、UR男山団地に投入。



【写真上】関西大学設計「住み開く住まい」
ほか全5戸供給(平成28年2月募集)

来場組数 71組 平均申込倍率 2.8倍



【写真上】URにおいても、全洋室化の1LDKなどの
改良プランを供給(昨年12月以降、今年度末まで40戸程度供給)



【写真左】現在、来年1月の募集に
向け新たな関大リノベーション住戸
を工事施工中(4戸供給予定)

ダンチ de コソダテ の取組み

エントランス改修による団地環境整備

住戸内だけでなく、子育て支援施設を中心としたエリアのエントランス改修も実施し、共用部の美観向上を推進。



改修前のエントランス



エントランス改修実施後

H27年度までに4住棟で実施済。

H28年度末までに20住棟にエリア拡大。

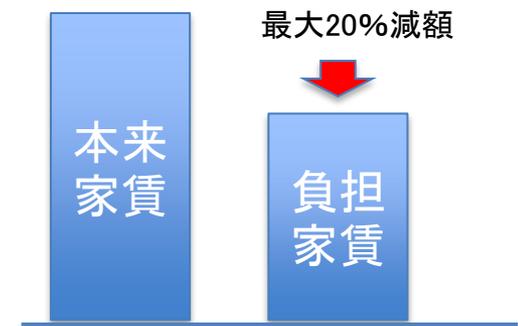


ダンチ de コソダテ の取組み

若年層世帯を対象とする家賃負担の軽減

子育て世帯や予備軍となる若年世帯を対象とする家賃負担支援メニューについて、積極的、優先的にUR男山団地に投入。

| 割引制度 | 対象世帯 | 家賃割引額 |
|--------|---|----------------|
| 子育て割 | 子育て世帯(H28.9月より新婚や婚約中の方、妊婦の方にも対象拡大) | 最大9年間 20%割引 |
| そのママ割 | 子育て世帯 | 3年間 20%割引 |
| U35割 | 35歳以下の世帯の方(H28.1より29歳⇒35歳に対象拡大) | 3年間 20%割引 |
| 近居割ワイド | ご親族と八幡市内で近居される子育て世帯等(H28.2より割引幅5%⇒20%に拡大) | 最大5年間 20%割引 |



ダンチ de コソダテ の取組み

おひさまテラスの開設・運営

子育て世帯をサポートする地域子育て施設を平成26年度より開設。



稼働日数 150日

延べ利用者 2,015名(13.4名/日)

※開設以来、必ず誰かが訪れる。 ※昨年10月～今年9月まで(直近1年間)の実績

【利用者ママの声】

- ・居心地が良くて実家に帰ったみたい。 ・子育てをするお母さんにとってこの存在は大きい。
- ・ここに来なければ子供が保育園に行く年齢になるまでママ友たちもできなかったと思います。
- ・家でひとりで子供を見ているとノイローゼみたいになるので、ほかのママたちにもここを知って欲しい。
- ・利用者の方目線で運営されているため安心でき、ほっとする時間が生まれた。

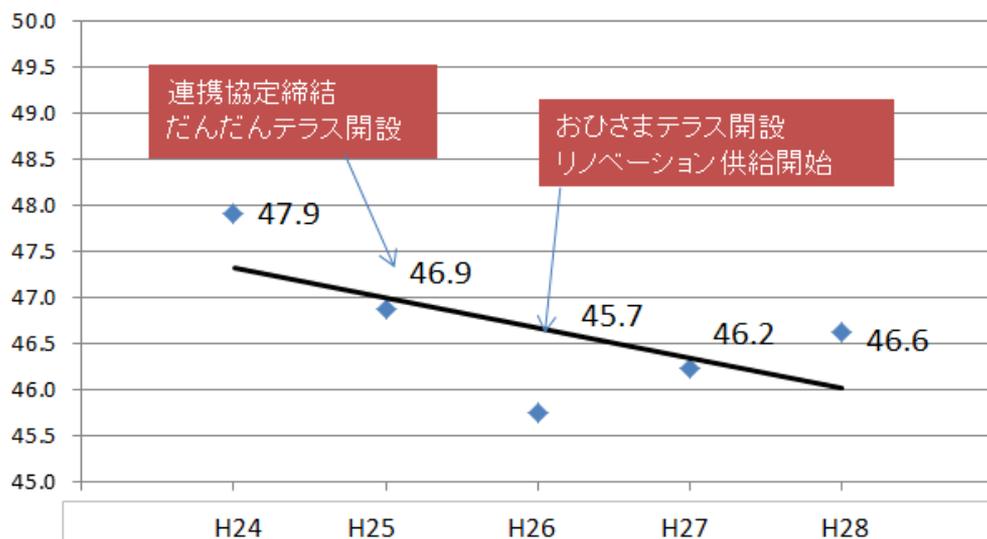
ダンチ de コソダテ の取組み

UR男山団地における入居者像について

ハード面、ソフト面における取組みを進めた結果、全国的に右肩上がりの傾向の続く入居者年齢について、男山団地においては、右肩下がり傾向に。

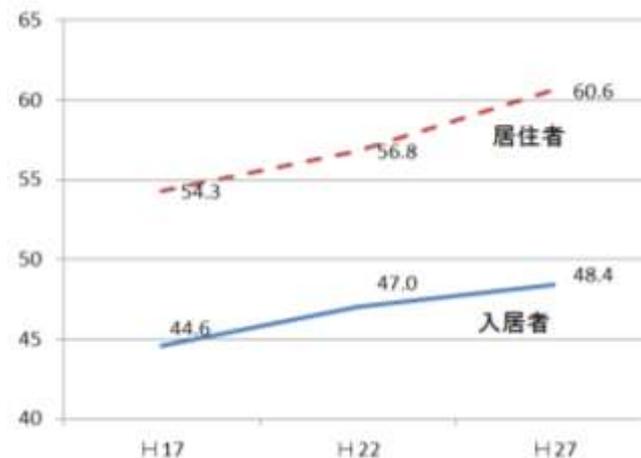
⇒新規入居者の若年齢化

UR男山団地世帯主平均年齢の推移(入居者過去5年)



【参考】UR定期調査等による

世帯主平均年齢の推移(全国)



ダンチ de コソダテ の取組み

おひさまテラスでの様子



毎日利用者が訪れ、子供たちで賑わいます。



イベントを通じて、ママたちの食育をサポート。



いただいたスイカで夏の風物詩を体験、ハロウィンに向けての準備など、季節の変化に応じた様々な体験をする子供たち。



ダンチ de コソダテ の取組み

おひさまテラスでの様子



テラス内だけでなく、外でも活動しています。



ピラティス教室、料理教室など
ママたちへのサポートも人気です。

地域包括ケアの確立

(2)多世代が根を張るまちづくりとして、高齢者が住み慣れた地域で
住み続けられることを目指した「地域包括ケア」の確立

八幡市地域包括ケア複合施設YMBT

地域密着型特別養護老人ホーム 定員 29名

高齢者あんしんサポートハウス 定員 20名

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

多目的ホール

UR男山団地内において

平成27年11月1日 地域包括ケア複合施設YMBT 開設

地域包括ケア複合施設YMBTの役割①

多様な高齢者のニーズに対応できる施設

- ・地域での生活を24時間体制で支援(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- ・低所得者向けの高齢者居住施設(あんしんサポートハウス)
- ・地域の重度要介護者が生活する施設(地域密着型特別養護老人ホーム)



壁画作り



ダンスサークル

地域包括ケア複合施設YMBTの役割②

元気高齢者の参画、地域へのサービス提供の場の確保

- ・多目的ホールの活用



出前講座、地域の催し等



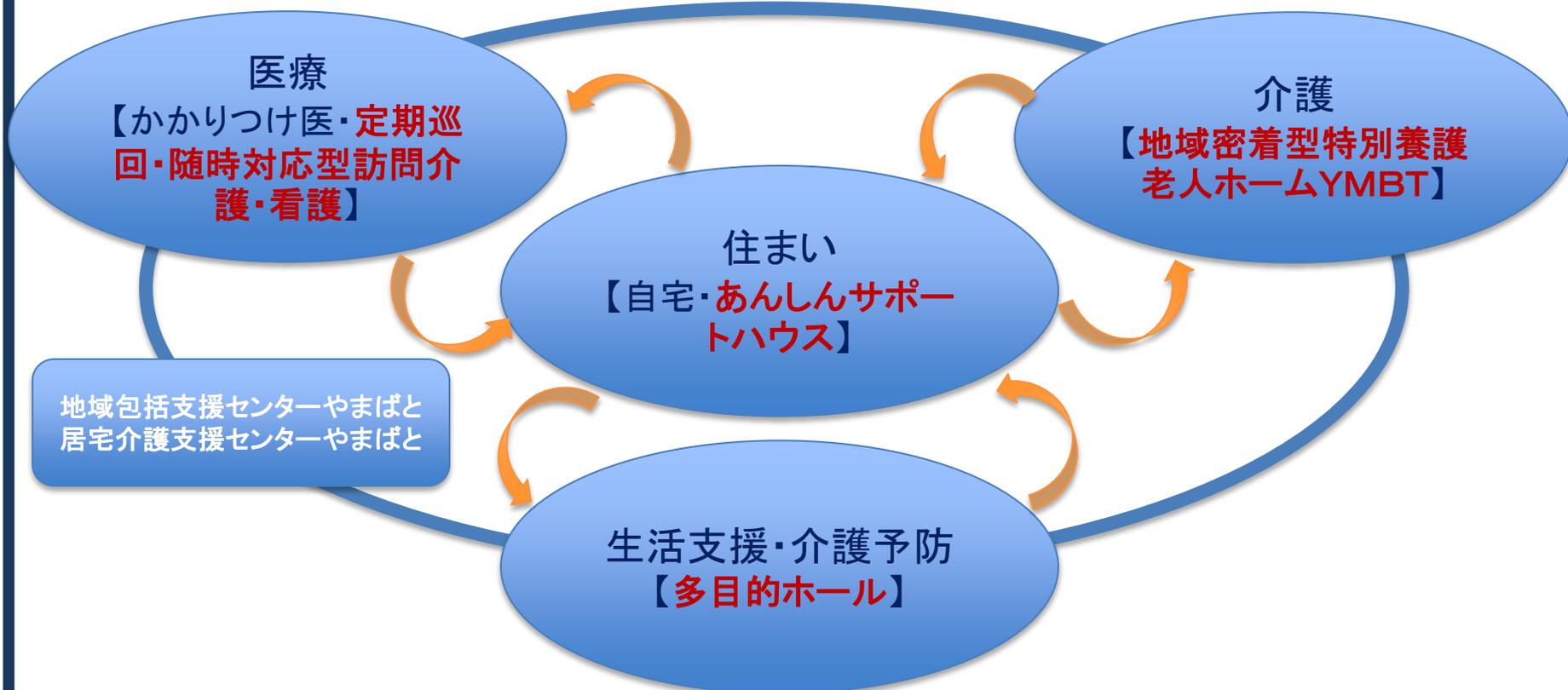
京都八幡高校との交流

地域包括ケア複合施設YMBTの役割③

地域包括ケア推進拠点

- ・医療・介護・予防・住まい・生活支援のサービスを包括的に提供

地域包括ケア



まちの公共員

(3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、
地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立

(4)住民が主役となるまちづくりとして、
地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

まちの公共員とは

●趣旨

特定の地域課題に対し地域に定着して多様な主体との協働関係をつくり、社会システムとしての解決策の創出と推進をマネジメント（半公半X）

※まちの仕事人...市町村の課題解決の取組を支援

●業務イメージ

- ・ワークショップの開催
 - ・目標、行動計画、グループづくりのための委員会の開催
 - ・地域の人材、資源等を組み合わせた協働事業の実施 等
- ※まちの仕事人...住民・市町村・府等の総合調整

●配置状況（現在3名）

- ・八幡市男山地域（だんだんテラスの会） 平成26年11月～
- ・和東町（和東町地域力推進協議会） 平成26年11月～
- ・亀岡市河原林町（河原林町自治会） 平成27年8月～

●男山地域におけるこれまでの活動

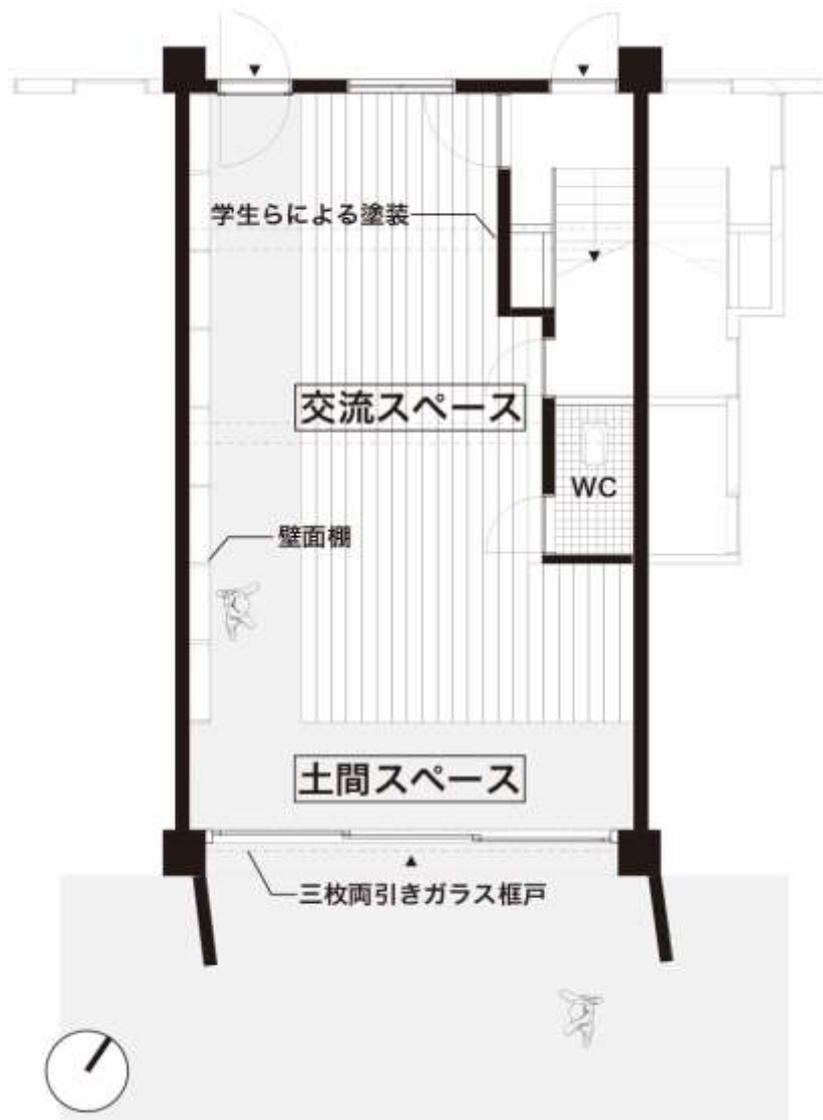
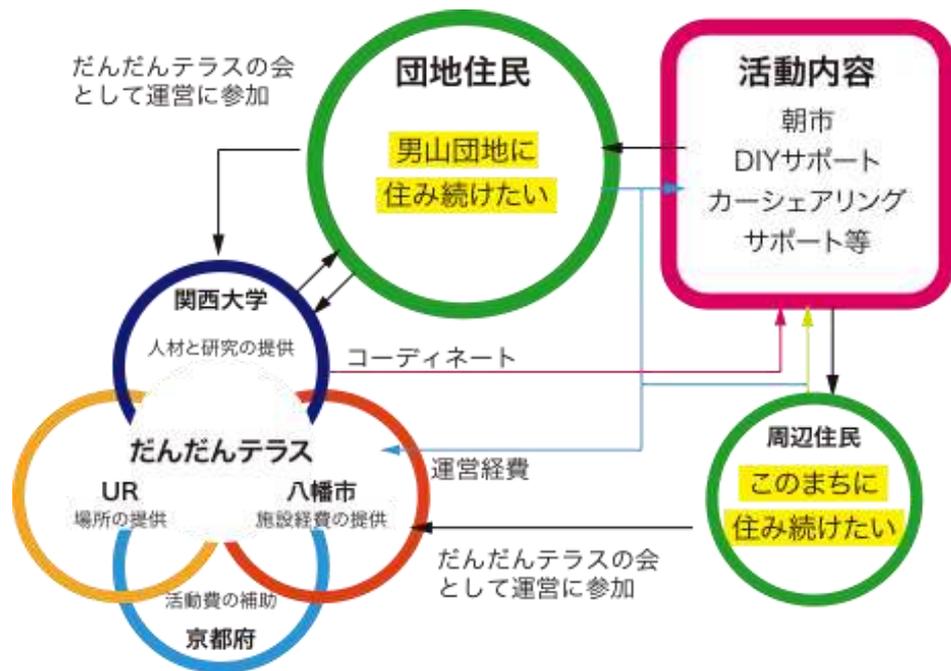
- ・だんだんテラスの企画・運営
- ・男山やってみよう会議の主宰

だんだんテラスの取組み

(3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、
地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立

(4)住民が主役となるまちづくりとして、
地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

365日気軽に集まれるだんだんテラス



開設日：平成25年11月16日

運営：だんだんテラスの会

主に大学院生が常駐

時間：年中無休(10時-18時)

住民と学生が協働で継続した運営をめざす

交流の場



だんだん朝市



朝10時からのラジオ体操



dang dang BAR



健康麻雀の会

情報共有の場



京都府建築士会による「住まいの相談会」



月曜日に開催する「お昼ごはんを食べる会」



八幡地域猫を考える会による「ねこ座談会」



防災に関する情報発信を行う「防災チーム」

活動の場



やってみよう会議チームによる会議利用



だんだん句会



毎月1回開催する子ども食堂



毎月8日に開催する手作り市&フリマ

まちづくり運動体やってみよう会議の開催



男山やってみよう会議

○毎月第3土曜日開催

自発的・自立的に

男山地域のまちづくりに
関わりたい市民を公募。

○開催の狙い

日常の場(だんだんテラス)

非日常の場(やってみよう)

2つのプラットフォーム

で住民活動を支援する。

まちづくり運動体やってみよう会議の開催

2016/3/19 (Sat) 12:00-16:00 CORE TIME 13:30-14:30

男山
やってみよう祭り

A つくろう!エコクラフト!

牛乳パックを使ったエコクラフトを作ろう! 【無料】

B 防災ってなあに?

クイズや毛布でつくれる担架のつくり方を学びます!

C 流れ橋の丸太でイスづくり!

丸太で「みんなのイス」をつくり色を塗ります! 【無料】

D 復活!おとこやま展望室

団地高層棟にある“幻の展望室”が限定復活 【先着100名】

E おいしいお茶の入れ方講座

日本茶インストラクター 松田一男氏による講座 【定員20名】

F 子ども会議 x やってみよう会議

子ども達が考案した「八幡飯」や「竹つぎリレー」が実現!

12:00 はじまり

A エコクラフト B 防災 C イスづくり E お茶の入れ方講座
F 八幡飯・お茶・焼き鳥のふるまい

13:30 活動報告会

○市長あいさつ (八幡市長)
○全体の取組み (まちの公共員)
○チームからの活動報告 (各チーム)
○おわりに (京都府府民力推進課)

14:30

D 展望台 (各ブースや報告会の参加者に整理券を配布します)

A エコクラフト B 防災 C イスづくり E お茶の入れ方講座

16:00 おわり



各企画には延べ259名の参加者!

まちづくり運動体やってみよう会議の成果

「協働」でしかなし得ない活動が実現している。



平成27年 公募メンバー38名

5チームが結成し、活動を展開。

平成28年

5チーム→10チームに増加。

実践活動・情報発信に取り組んだ結果、
新たな人材の発掘につながる。

特に地元大学生らの参加は大きな成果。



今年度は全部で10チームが活動

1. 夢プロジェクト/八幡を題材に子ども向けのイベントを企画.
2. 防災/日常から防災を考えるきっかけづくり.
3. ヤバいまち歩き/地域の魅力再発見.
4. だんだんテラス継承・拡充/団地再生勉強会、常駐、コラム.
5. 子ども食堂/高齢者・子どもの孤食をテーマに毎月1回開催.
6. 8 gram/男山出身の大学生チーム. SNSを活用した情報発信.
7. 手作り市/ものづくりコミュニティ形成をテーマに毎月1回開催.
8. 緑道de遊び隊/団地緑道を活用したイベント企画やツール開発.
9. 痛快田舎芝居だんだん一座/芝居コミュニティ形成をテーマに.
10. フォークソング/フォークソングコミュニティ形成をテーマに.

「きっかけ」の連鎖から生まれる日常の「楽しみ」



苗を持ってきてくれた人・空き地を耕す子ども・水をやるラジオ体操メンバー
成長を楽しみにしている通りかかる人たち・dang dang BARでの収穫祭・
散歩の時間に寄ってくれる保育園の子ども達...「玉突きアプローチ」が実現.

商店会主催の男山秋祭りでの活躍



京都府建築士会のDIYブース・手作り市 & フリマ・秋祭りに向けた花壇の整備
フォークソングのステージ・竹ドーム・緑道イベント・URによる情報発信・DIYチームが
制作したベンチ、地元大学生らのハロウィンのメイクブース...

団地空間魅力UPプロジェクト

UR男山団地A地区 おひさまテラス周辺エリアでの取組み

団地空間魅力UPプロジェクト

現在まで、主としてUR都市機構が管理し、計画的に修繕してきた部分などにも着目。

住棟の手摺等鉄部の塗装
屋外の工作物等鉄部の塗装

団地空間の魅力をさらに向上。

塗装色選択アンケート

【イメージ写真】

○玄関扉



○バルコニー手すり・窓手すり



※写真はイメージです。実際などの現場から実際の色とは多少違いがあります。
 ※色味の方向性を示した色を住所ごとに塗装するため、各戸の色は異なります。
 ※A地区高気圧彩色塗料表の色見本を参照しておりますので、お手帳ではございませんがご確認下さい。

問い合わせ先

- ～ 本取組、本アンケート、色彩選択に関して ～
- だんだんアラス (中央地区センター内)
- UR 都市機構西日本支社 ストック再編事業第2チーム (電話：06-6969-0564)
- ～ 最終塗装工事に関して ～
- UR コミュニティ 京都住まいセンター技術サポート課 (電話：075-256-3663 (代表))

UR 鉄部塗装工事 (計画修繕) 色選択アンケート

ご入居者さま 各位

平素の朝、時下ますますご清祥の程、お慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。昨年度は、A地区の皆様のご理解、ご協力のおかげで、おひさまアラスの開業、リノベーション住戸の供給が実施でき、みなさまもご存じのとおり盛況を頂いております。さて、東山団地A地区の一部住棟 (9棟) にて、この秋よりUR都市機構による鉄部塗装工事 (計画修繕) を予定しております。

この鉄部塗装工事に合わせ、関西大学 団地再編プロジェクトと連携し、A地区のおひさまアラス周辺の一部住棟を対象に①玄関扉、②バルコニー手すり、③窓手すりの屋外面に対する部分の塗装色をご入居者の皆さまに選択して頂き塗装することで、さらに豊かな屋外空間をつくり、より愛着のある住まいとして選べればと考えております。そこで、本アンケートにある色彩選択表の中から、皆さまのご希望の色彩を選択し、ご回答頂ければ幸いです。

ご入居者の皆さまには、お手数おかけいたしますが、本案件の趣意をご理解いただき、アンケートにて、色彩のご指定をお願いいたします。
 尚なお、一度ご指定頂いた色彩の変更は受け付けられません。また、塗装後にイメージと異なるなどの重り直しも受け付けられませんので、ご理解の程よろしくお願い致します。

※アンケート用紙は、下記の日程で関西大学の学生にお届に伺いますので、いずれか

の時間にご在宅頂ければ幸いです。

- 回収日曜) 8/18 (火) 10:00～11:00
- 8/21 (金) 10:00～11:00
- 8/22 (土) 10:00～11:00

※上記の日程にご不在などにより、学生

～8/22 (土) までA地区集会所に

※期限内に回答がない場合は、UR・Kの

色彩を決定させて頂きますので、ご

色彩選択表【ご入居者様控え】 ※各戸それぞれ選択された色を塗装します。

| 玄関扉 (※部屋の内側は白で塗装します。) | | マニキュアの色をひとつ選び ○を付けて下さい。 | バルコニー手すり・窓格子 | | マニキュアの色をひとつ選び ○を付けて下さい。 |
|-----------------------|---------------|----------------------------|--------------|---------------|----------------------------|
| | 深緑 (こひき) | | | 深緑 (こひき) | |
| | 濃藍 (こいあい) | | | 濃藍 (こいあい) | |
| | 鬱金色 (うこん色) | | | 鬱金色 (うこん色) | |
| | 海松藍 (みるあい) | | | 海松藍 (みるあい) | |
| | 炭色 (すみいろ) | | | 炭色 (すみいろ) | |
| 現状色のまま | | | 現状色のまま | | |
| 関西大学の学生におまかせ | | | 関西大学の学生におまかせ | | |

※別紙、提出用紙にて、ご希望の色に丸を付け、提出して下さい。
 一度確定した色の変更は受け付けられませんので、ご了承下さい。

塗装色選択アンケート結果

対象住戸200戸
配布177戸
回収116戸

| | 手すり | | 玄関扉 | |
|--------------|------|--------|------|--------|
| | 選択戸数 | 割合(%) | 選択戸数 | 割合(%) |
| 深緋(こひき)=赤 | 9 | 4.5% | 6 | 3.0% |
| 濃藍(こいあい)=青 | 21 | 10.5% | 15 | 7.5% |
| 鬱金色(うこんいろ)=黄 | 22 | 11.0% | 33 | 16.5% |
| 海松藍(みるあい)=緑 | 8 | 4.0% | 7 | 3.5% |
| 墨色(すみいろ)=黒 | 2 | 1.0% | 1 | 0.5% |
| 現状色=白 | 46 | 23.0% | 42 | 21.0% |
| 関大に任せる | 13 | 6.5% | 12 | 6.0% |
| 未提出 | 48 | 24.0% | 48 | 24.0% |
| 塗装なし(※) | - | - | 5 | 2.5% |
| 拒否 | 8 | 4.0% | 8 | 4.0% |
| 空き家 | 23 | 11.5% | 23 | 11.5% |
| 計 | 200 | 100.0% | 200 | 100.0% |

※「塗装なし」に該当する5戸は2014年度の「子育て世代向けリノベーション」の対象住戸で玄関扉については塗装済みであるため除外した









立入禁止

注意
この区域は
管理区域
です

住まいの相談会(京都府建築士会との連携)

平成27年度より、毎月2回(第2・4土曜日)開催



男山団地、男山地域の住民を対象に、セルフリノベーション(自主改修)の支援を目的として実施.



27・28年度、相談会に来た中から実際にセルフリノベーションを行う方も.

健康福祉分野を中心とした 男山地域再生プロジェクト

京都府 絆ネット構築支援事業(26～)

□ 趣 旨

地域の高齢者、障害者、児童などの見守り・生活支援を進める上で、地域の様々な団体による連携した活動を横断的に調整・推進する必要があることから、地域における「絆ネット」を構築し、地域福祉の再構築を目指す。

□ 事業概要

各市町村の様々な見守り団体が、絆ネットを推進母体として連携することにより対応できるような、新たな見守り活動事業

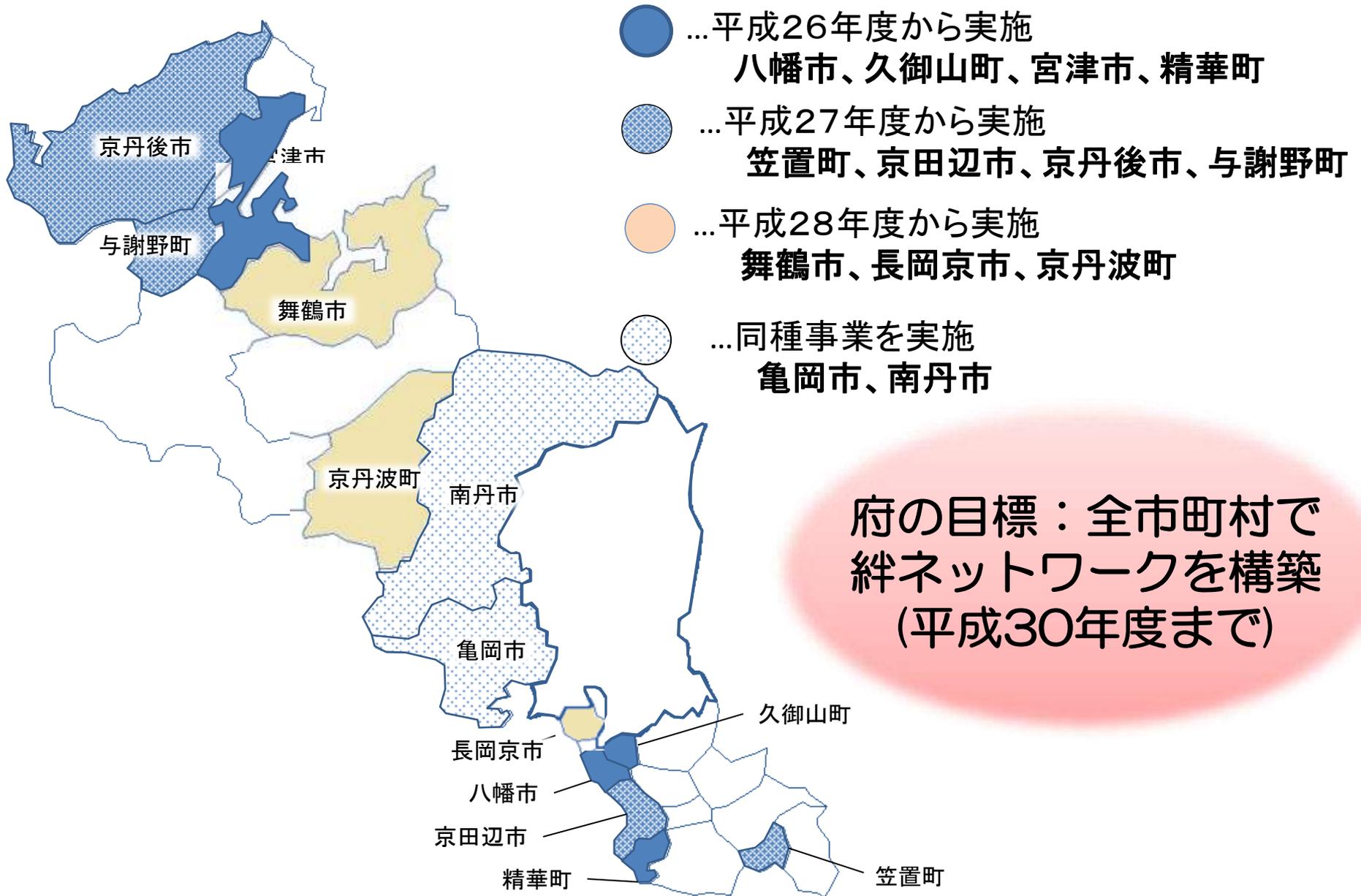
【絆ネット】 個々の取組はありながら横断的なつながりが希薄な中、各団体が地域の課題について横断的に調整・推進するためのネットワーク

【絆ネットコーディネーター】 絆ネットにおける地域団体の活動を横断的に調整・推進する。住民活動の育成・支援・組織化を図り、ネットワーク参画団体・機関との連絡・調整を担う。

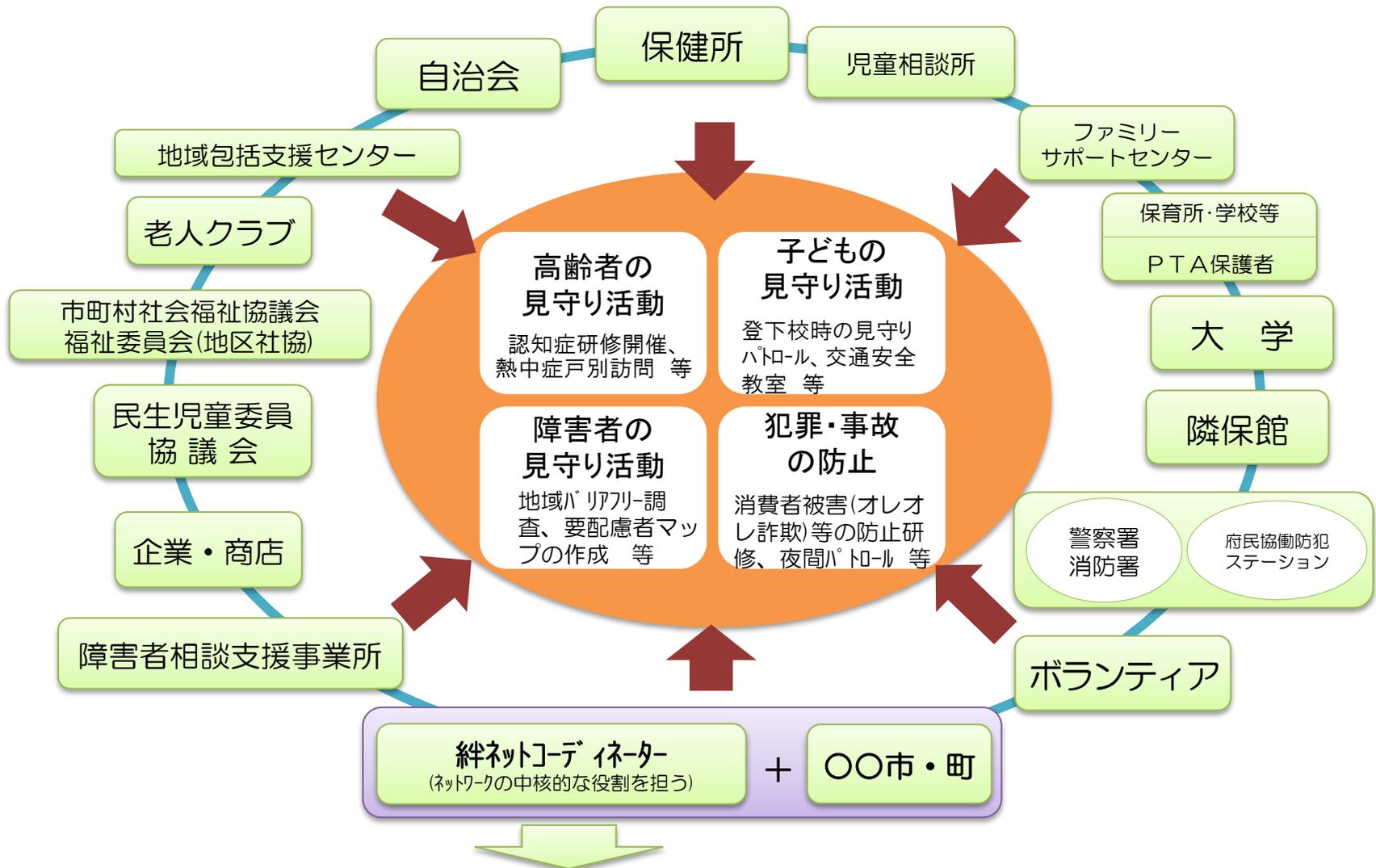
□ 実績 11市町 (26～) 八幡市、宮津市、久御山町、精華町、
(27～) 京田辺市、京丹後市、笠置町、与謝野町
□ 府の支援事項 (28～) 舞鶴市、長岡京市、京丹波町

- ・事業経費の一部負担（立ち上げ支援）
- ・ネットワーク同士の情報交換の場を設置
- ・絆ネットコーディネーターの研修
- ・地域の座談会への参加 など

絆ネット構築支援事業 実施状況



絆ネットワークのイメージ



個別課題に対応する「見守り支援チーム」※を編成

※見守り支援チーム：絆ネットコーディネーターをリーダーとした地域課題に直接対応する地域福祉の専門家をはじめとするメンバーで構成(例：地域包括支援センター職員、社協相談専門員 等)

絆ネット構築支援事業 27年度の実施状況①

八幡市 実施主体：八幡市社会福祉協議会

小地域での取組の構築
↓
男山地域全域のネットワークへ

○ 見守り隊事業(男山団地B地区)の構築

自治会・福祉委員会・民生委員・老人会・
子ども会・交番連絡員、関西大学、UR 等

B地区
構築済

A・C地区
H27～

団地内自治会
全7ヶ所

団地全体のネットワーク構築

○ B地区見守り隊発足 → 本格的な活動開始

8世帯の見守り希望者、多数の案件の通報あり
→ **地域住民が参加する見守り体制の構築**

○ A地区、C地区 → 見守り隊発足に向け取組

A地区：見守り隊の準備・座談会開催に向けて、
自治会長と調整中
C地区：地域住民座談会の開催 3回程度実施

○ 「男山安心ネットワーク」の構築

男山地域の企業・事業所・商店等の参加
業務中不審なことがあれば社協へ連絡するシステム
12月：**26**社(郵便・配達業者等)呼びかけ
→ 最終**40**社程度の参加見込み

精華町 実施主体：精華町社会福祉協議会

サロンを基盤とした見守り体制の構築
↓
町全域ネットワークへ

○ サロンを中心とした居場所づくりを支援し、 町全体のネットワークを構築

ふれあいサロン
51箇所

趣味活動や食事会など、子育て世
代、高齢者、障がい者などが気軽
に集えるふれあいの場

まちの福祉サポート店
124店舗

買い物などの日常生活で困ってい
る方を支援するため、見守り活動
の協力を賛同した店舗

○ 「居場所づくり支援事業」

12月4日 意見交換会
関係団体、地域住民と、サロン
等地域の居場所づくりについて
マッチングの場づくり

ふれあい
サロン

まちの福祉
サポート店

絆ネット
コーディネーター

○ 「絆カフェ」の運営

毎月第3火曜日開催。相談員が
その日カフェに駐在し、カフェ
参加者の相談に応じる

町全域へ

○ 「社協ふくし相談」(平成28年1月～開始予定)

相談先がわからなかったり、人に話しにくい
事を安心して相談できる場所づくり(月4回程度)

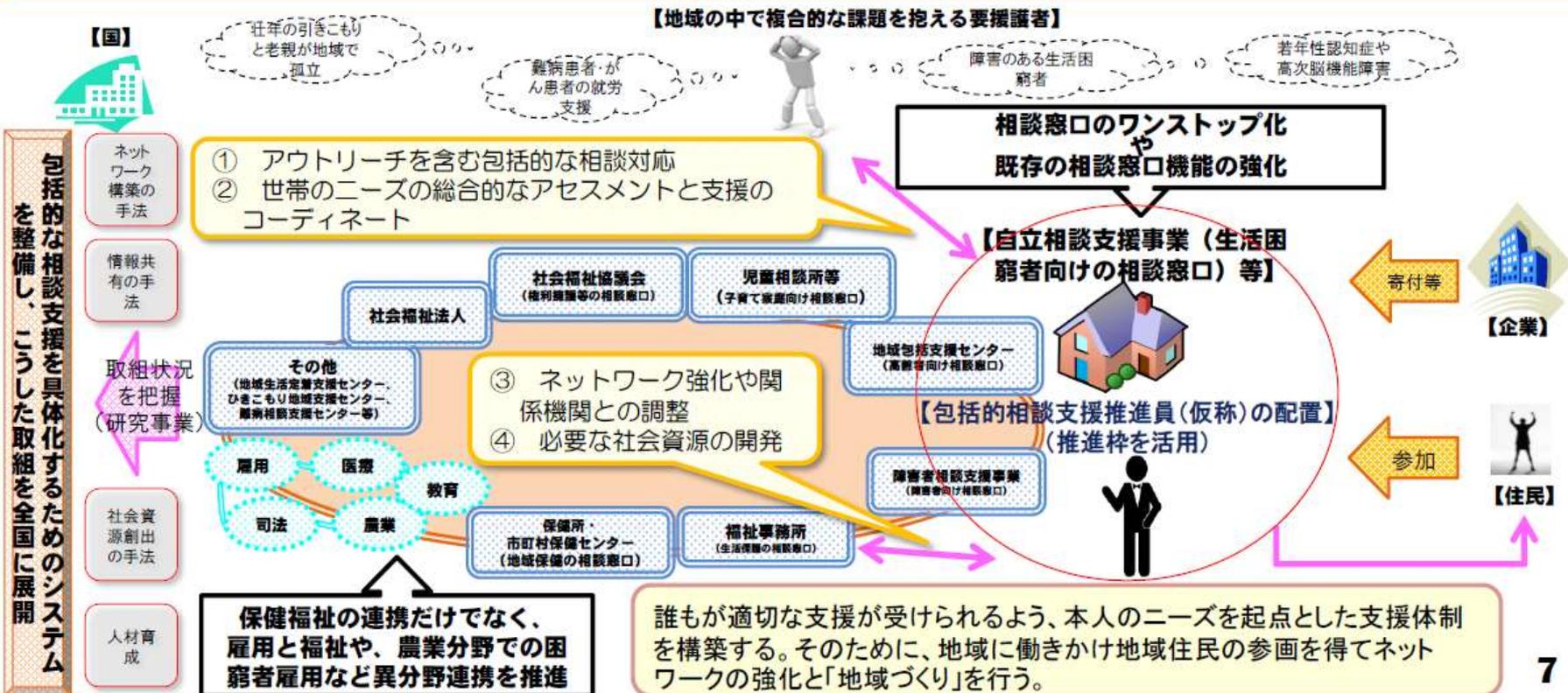
参 考:厚生労働省「我が事・丸ごと地域共生社会実現本部」資料

1 さまざまなニーズに対応する新しい地域包括支援体制の構築

① 包括的な相談支援システムの構築

- 我が国の福祉サービスは、高齢、障害、児童その他対象者ごとに専門的サービスが充実してきたところ。他方、福祉ニーズの多様化・複雑化や人口減少など地域社会が変容する中で、単独の機関によるアプローチでは、十分対応できないケースも浮き彫りになっている。
 - 既存の支援体制の存在や地域によって実情が異なることも踏まえながら、こうした新たな課題に対応するため、
 - ・ 地域の中で「狭間のニーズ」を掘り取り総合的な見立てとコーディネートを行う機能を強化する
 - ・ 多機関・関係者の連携を強化し社会資源の開発を図る
 - ・ 支援人材を育成しつつ、包括支援のノウハウを全国展開する
- これらの取組を通じ、**多機関・多分野協働による新しい包括的な相談支援システムを構築**する。

推進枠を活用しモデル的な事業実施
調査研究事業の実施



絆ネット事業とは

地域の高齢者、障害者、児童などの見守り・生活支援を進める上で、複数機関の連携による支援や公民協働での支援など、地域の様々な主体による取組を横断的に調整・推進し地域全体での新たな見守り活動を展開、地域福祉の再構築を目指す。

取組み内容

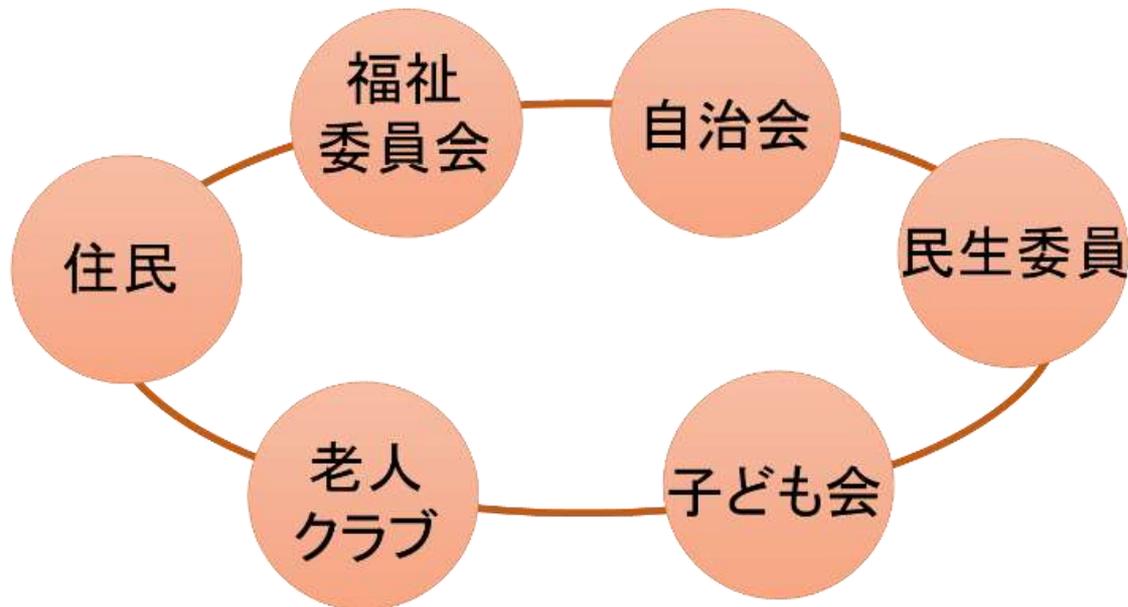
- 住民による見守り活動の推進
- 男山あんしんネットワークの構築
- 絆ネット地域懇談会の開催

住民による見守り活動の推進

地区座談会の開催

地域課題の共有と協議

課題解決に向けた取組み



男山B地区見守り隊

見守り活動

戸別訪問による見守りと日常生活上のさりげない見守り

緊急時の対応

『(熱中症により)しんどいから助けてほしい』の声に消防に通報

啓発活動

『ポストに新聞がたまっている』など近隣住民からの連絡・通報

パトロール

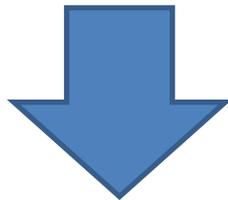
地域内で不審者が現れた。防犯を兼ねて、放課後の時間帯に団地内パトロールを開始



男山八望地区福祉座談会

地域の身近な相談窓口

専門機関のかけはしに・・・



ご近所福祉相談所

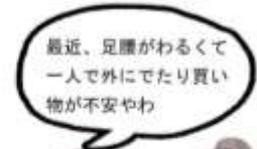
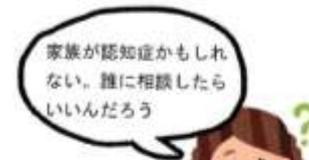
『住民のマナーが悪い』

『お金のやりくりが大変。どうしたらいいの？』

開設！

ご近所福祉相談所

たとえば、こんなことで困ってませんか？



その他、なんでもお気軽にご相談ください

ミニサロン「憩いの場」で開催

10:00～12:00

場所：男山八望Eラウンジ前

自治会と福祉委員会による
サロンを開催しています。

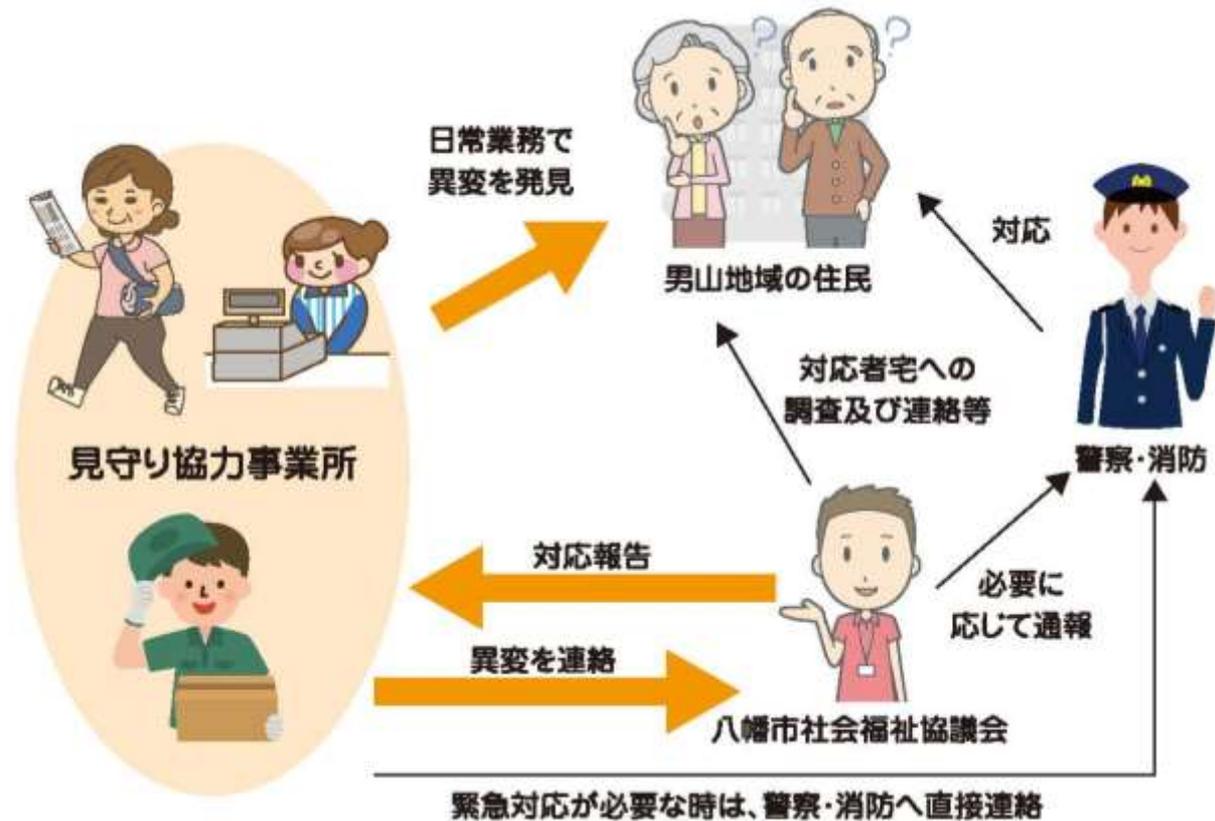
男山八望地区福祉座談会

問合せ：生川

協力：八幡市・八幡市社会福祉協議会

男山あんしんネットワークの構築

男山地域に住む人々誰もが住みなれた地域で安心して暮らし続けられるよう、住民だけでなく様々な事業所の皆さんと連携した見守り活動をすすめる。



男山地域 安心・安全コミュニティ 創造プロジェクト

重点目標

- ① 高齢者の特殊詐欺被害をなくす
- ② 高齢者の交通死亡事故をなくす
- ③ 万引き・自転車盗をなくす
- ④ 傷病者の応急措置を充実する

プロジェクト全体会議

<構成>

京都府・警察・八幡市・八幡市消防・UR都市機構

- ①特殊詐欺部会
- ②交通死亡事故部会
- ③万引き・自転車盗部会
- ④傷病者の応急措置部会

特殊詐欺部会

■出前講座・セミナー

- 6月 4日 男山公民館 特殊詐欺撲滅ミュージカル
消費者トラブル講座
- 6月 9日 男山公民館 高齢者の消費者トラブル
- 9月20日 八幡市福祉会館 高齢者の消費者トラブル

■啓発活動

- 5月28日 イズミヤ八幡店
- 年金支給日 男山郵便局前

■広報活動

- 広報やわた(9月・10月)
- 市ホームページ(還付金詐欺にご注意)

■見守り活動

- 絆ネットと連携した高齢者の見守り活動
- 福祉サロン(男山八望地区)
- 生活情報センターの周知・消費生活相談

万引き・自転車盗部会

■学生による男山地域清掃活動

○10月12日

男山第二中・八幡高校の生徒、地域住民等の参加
規範意識の醸成

■自転車総合啓発活動

○11月30日(予定)

男山第二中・八幡高校の生徒が自転車の施錠を啓発

交通死亡事故部会

■交通現場診断

○8月 9日

交通死亡事故の現場診断(内里・男山長沢)

■啓発活動

○9月29日 シニアドライビングスクール参加者

○11月30日 ライフ男山店

啓発物品の配付、反射材の直接

傷病者の応急措置部会

■学校における救命講習 8回

○28年度は市内全小中学校で実施予定 中学校 2回・小学校 6回

■AED取扱講習・出前講座 13回

■自治会防災訓練でのAED訓練 5回

■普通救命講習 15回

■救急入門コース 1回

(10月末現在)

ココロミタウンの取組み

(UR男山団地C地区)

(3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、
地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立

(4)住民が主役となるまちづくりとして、
地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

ココロミタウンプロジェクトの取組み

必要な時期に自分で住まいに手を加えて、住み続けることのできるセルフリノベーション特区をUR男山団地内に新設(愛称:ココロミタウン)。

【ココロミタウンの特徴】

- ① 申請等により退去時の原状回復義務が免除される特典付の賃貸住宅を供給

⇒平成28年10月15日より特区化

- ② 気軽に取り組める改修サポート体制



住民の皆さんが、住まいながら、日常の暮らしを少し良くする試みを自ら実施することで、住まいに愛着を持って、長く住み続けたいまちとなることを目指します。

ココロミタウンでできること

URのDIY制度等を活用し、自由度の高いセルフリノベーションを実現できます。

【改修イメージの一例】



押入をクローゼットに



和室をフローリング化して収納をベッドに



DIYでも専門家をお願いしてもOK。



お気に入りの洗面台に入替え



和室をウッディなリビングスペースに

ココロミタウンにおけるサポート体制等

専門知識が無くても、改修に踏み出せるようサポート体制等を整備。

① 京都府建築士会による住まいの相談会



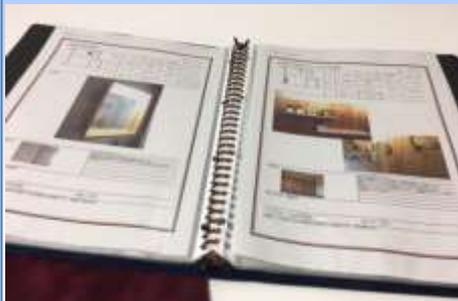
毎月2回、専門家が無料相談会を開催。改修のアドバイスやURへの申請に係るサポートを実施しています。

② だんだんテラスによるDIY工具貸出し



365日開設のだんだんテラスでDIY工具の貸し出しを行っています。道具が既にあるだけでハードルがぐっと下がります。

③ 共有の改修事例集(男山リノベカタログ)



ビフォー・アフターの写真をカタログにまとめ、だんだんテラスに設置しています。実際に改修事例が見学可能なモデルルームも3部屋あります。

④ 入居時の負担軽減特典など



DIY指定住宅は入居前に工事ができるよう3ヶ月のフリーレント付であったり、近居割が併用可能など、入居時の特典があります。

ココロミタウンプロジェクトのまとめ

- 多様化するニーズを事業者が追いかけるだけでなく、住民自身が住まいながら自分らしい住まいを実現できる地域インフラを京都府建築士会及び関西大学の強い協力を得て構築。
- 改修モデル地区として、UR男山団地のC地区(720戸)をセルフリノベーション特区化。
 - ⇒ サポート体制は地域共通の機能
 - また、既にお住まいの方等、DIY指定住宅以外の改修(模様替え)要件の緩和(※)は、C地区だけでなく、UR男山団地全体で実施。

※模様替えについては、原状回復義務が免状される改修範囲がDIY住宅に比べて狭くなります。

男山地域の情報発信

■ だんだんテラス facebook おひさまテラス facebook

■ 八幡市役所

<http://www.city.yawata.kyoto.jp/category/1-23-0-0-0.html>

■ UR男山団地(特設サイト)

http://www.ur-net.go.jp/kansai/otokoyama_danchi/

■ UR男山団地(住宅情報)

<http://www.ur-net.go.jp/kansai-akiya/kyoto1840.html>

■ 関西大学戦略的研究基盤団地再編プロジェクト(KSDP内サイト)

<http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/ksdp/index.html>

■ 京都府府民力推進課

http://www.pref.kyoto.jp/chiikiriyoku/koukyouin_yawata.html